

# Brera

初 荷

もうある!ブレラ買うなら中古車がおトクです

今年の4月に発売されたばかりのブレラ。159譲りのしっとりとした乗り心地と、大人びたとはいえアルファらしいシャープさを失っていないハンドリング、そしてなによりスポーティかつスタイリッシュなエクステリアが魅力的なパーソナルクーペだ。そんなブレラも発売から半年を経て、いよいよ認定中古車市場に姿を現しはじめた。

写真のロッソ・アルファ号は、トップグレードのスカイウィンドー3.2JTS Q4。走行わずか3000kmで、プライスボードには529万円とあった。これだけでも新車価格より55万円おトクだが、このクルマはデモカー出身というだけあってポルトローナ フラウ社製レザーインテリアを備えている。新車時31万円の有り難いオプション

装備が付いているのだ。つまり登録諸費用も合わせれば、新車を買うより100万円近くも安く手に入れられることになる。セレスピード待ちならともかく、MT狙いならアプルーブドカーという選択もおおいにアリというわけだ。もちろん試乗も可能である。



このクルマを在庫しているアルファ・ロメオ田園調布アプルーブドカーセンターの猪俣 敏氏によると、ブレラのグレード別新車販売比率は直4版優勢とのこと。よってV6搭載車の品薄感は今後も続くはず。取材協力=アルファ・ロメオ田園調布アプルーブドカーセンター Tel. 03-3721-1565

## 正規ディーラーのお宝ストック探訪

編集部員がアシで見つけた  
正規ディーラー扱いの保証付き中古アルファたち。まるで新車!の最新モデルから  
趣のあるちょい古系まで、探せばいろいろあるものです。  
Photo: 松本高好/五條伴好/丸山ヒロト



ダッシュボードのフィニッシュをはじめ、内外装ともに156から大幅なクオリティアップを果たした159。MTのシフトフィールも抜群にいい。取材協力=アルファ・ロメオ田園調布アプルーブドカーセンター Tel. 03-3721-1565

# 159

新車もいいけど中古車も見て!

新世代アルファの旗艦といえる159。日本上陸はブレラよりひと足先で今年2月のことだった。完全新設計のシャシーとエンジンは、先代の156とは一線を画す上質なドライブフィールをもたらしている。ボディも大きくなって室内は広々。静粛性も一段高まった。そしてなにより、シックなボディカラーが似合うようになったことがこのクルマのキャラクターを体現しているといえよう。

写真のクルマは“オルトレマーレ・ブルー”。アルファ・ロメオ田園調布アプルーブドカーセンターで見つけた個体だ。レザーシートや17インチアルミホイールを組み合わせたセットオプション“トゥーリズム・パッケージ”が装着されており、気になる価格は369万円となっている。走行もまだ少なく4000kmほど。新車前提の方に、ぜひ見てもらいたい1台だ。



メッキ処理されたインテークパイプが旧世代V6ユニットのトレードマーク。その源流は1979年デビューの大型サルーン、アルファ6(sei)に辿ることができる。取材協力=アルファ・ロメオ田園調布アプルーブドカーセンター Tel. 03-3721-1565

# GT

旧世代V6の嬌声を愛でる

もともとの新車販売からしてさほど台数が多くな  
いだけに、中古車も希少な存在となっているアル  
ファGT。156世代に共通する超クイックなス  
テアリングギア比でドライバーを唸らせ、愛嬌の  
あるフロントフェイスが同乗者を和ませる。リア  
シートやラゲッジルームもクーペとしては極めて  
実用的にできており、もしかしたら後年、今より  
ずっと珍重されるようになるかもしれない実力車

である。写真のクルマは2004年式のV6 3.2  
24V。古風なエグゾーストノットと回転フィールが  
雲間気満点の、よもや新型V6もそれをマネて調  
律したとかなないとかいう旧世代V6搭載車であ  
る。走行距離は9000kmほど走っているものの、  
掲げられたプライスボードは368万円。新車が  
543万9000円もする事を考えれば、なかなかの  
バーゲンと言える。

# 145

ラストチャンスレア・モデル



96年から01年まで日本におけるアルファのエントリーモデルを担った145。ちょっと前まで街中を元気に走る姿を目にしたものだが、最近ではほとんど見なくなった気がする。そう言えば、アルファ・ロメオ正規ディーラーの展示場からいつのまにか消えてしまっている。インターネットで検索してみたが、走行距離の少ないものに限定すると、東京近郊のディーラーでは1台も見つけられなかった。ところが、である。検索範囲を全国に広げてみると、なんと5台をストック(11月中旬)する店舗を発見したのだ。アルファ・ロメオ浜松である。2.1万km/3.8万kmという信じられないマイレージの145を揃えている。まさに“お宝”と呼ぶに相応しい。まずは展示場に並んでいた99年式・走行2.1万kmの車両をチェックしてみよう。アルファレドのボディは艶のある光を放ち、インテリアもパリッとした新車の雰囲気漂う。まだ、こんな極上モノも存在していたのだ。保管状況のよくなかった145は、ボディの塗装が褪せたり、ドア・ハンドルやピラーの樹脂パーツ表面が剥がれているものが多い。



ミラクルな状態を保つ新車みたいな145。このような極上車は全国を探してもなかなか出てこないだろう。取材協力=アルファ・ロメオ浜松(99年式・走行2.1万km・価格88.2万円) Tel.053-422-1555

また、インテリアに使用されているプラスチック部品がひび割れている個体も少なくない。取材に対応してくれた同店・営業部の木原秀敬氏は、「いまでも常時4~5台はストックしていますよ」と話す。なぜ145にこだわるのか?という質問には間髪入れずに答えが返ってきた。

「輸入車の正規ディーラーには数居が高く入りにくいと感じている方がまだまだ多数いらっしゃるようです。私たちはその数居を取り去りたいと思っています。たとえば、諸経費込みの価格が100万円以下、そんな正規ディーラーの輸入中古車があってもいいじゃないですか。145は、初めて輸入車に乗る方、若い人、そしてクルマの好きな地元の皆様と私たちをつなぐ役を担っているわけです。予算のことを気にしないで多くの人に気軽に立ちよってもらいたい。だから当店は145を大切にしています」

特に地方都市では、一家に1台ではなく、クルマはひとり1台が基本になる。通勤、買い物、



アンチ・アルファレド派にお勧めのアートブルーを纏う145。若干の使用感はあるものこちら上モノ。取材協力=アルファ・ロメオ浜松(99年式・走行3.8万km・価格65.1万円) Tel.053-422-1555



レジャー、ほとんどの移動をマイカーで行なう。つまり一家に2~3台が普通なのである。「妻がミニバンに乗っているの、通勤用には小型のアルファを」と、145に触手を伸ばす30~50代の男性も多いそうだ。どうせ自分しか運転しないのだから、キビキビ走れるハッチバックのMT車ということなのだろう。たしかにツインスパークの吹上がりや存分に味わえるという点では、145は147の上をいくと思う。しかも100万円以下の予算なら、自分の小遣いの範囲で収まる金額なのかもしれない。

145の中古車価格は、30万円くらいを下限として100万円前後が上限となる。程度のいいものは60万円以上が目安になるだろう。年式による相場形成は崩壊しつつあるが、最終の特別仕様車だけは別格で120万円を超えるプライスボードが掲げられるようだ。流通量は間違いなく減少の一途を辿っている。147の中古車が豊富に流通し始めたため、145を市場からはじき出したかたちだ。正規ディーラーの扱う程度のいい145に乗りたいのなら、そろそろラストチャンスである。



# GTV

希少

スパイダーよりも少ないモデル

2003年6月に登場した3.2R V6エンジン搭載のGTV 3.2 V6 24V。オリジナルの丸目4灯ヘッドランプをそのままに、縦長グリルが与えられたGTVの最終マスクを持つモデルである。意外にも新車販売はスパイダーの方が多く、GTVの流通量は少ない。走行距離の問題もあって2000年以降の車両が人気だが、97年式(3R+5段MTの左ハンドル)なら150万円程度から狙える。他のモデルと較べアルファレドの比率が低いのも特徴。



“メテオールグレー”の外装色に“ヘレスレッド”と呼ばれる赤いレザーインテリアの組み合わせ。走行距離は8300kmで348万円のプライスボードを掲げている。取材協力:アルファ・ロメオ 港北 Tel.045-945-0156



# 156

蔵出し

2度と逢えない2006年式の156!!

走行距離が100kmにも達していない156 2.0 JTS。ナンバー付き未使用車のラスト1台で、おそらく日本中のどこを探してもこのような車両は出てこないはず。最後期モデルだけあって初期型とは較べものにならないほど各種装備が充実している。また“デイトナブルー”と呼ばれる珍しいブルーメタリックの外装色と5段MTであることも自慢できるポイント。ことによるとGTAよりもアルファ通を気取れる1台かも。



標準は“Alfatex”と呼ばれる布製シートだが、この車両にはオプションのスポーツレザーシートが備わる。車検が2009年の3月まで付いて価格は329万円。取材協力:アルファ・ロメオ 田園調布 アブルーブドカーセンター Tel.03-3721-1565



# 156

前期モノ・5段MTの156はお宝度高し!

ツインスパークのMT仕様を選ぶ人は間違いなくクルマの好きな人。で、走行距離は伸びる。だから走行3万km台の個体はお宝度が高い。ついでにレア度も高い。99年式156ツインスパーク(MT)・走行3.6万km・価格118万円。取材協力=アルファ・ロメオ浜松 Tel.053-422-1555



# 156

格安

69.3万円の156、そのワケは……

2000年式156ツインスパーク(MT)。走行6.0万kmもタイベル交換済み。HDDナビ/ETC付き。本来100万円は下らないはずのこの個体が安価なのは、右フロント部に修復歴があるから。しかし精緻に修復済みとのこと。名より実を取る方へ。取材協力=アレーゼ市川 Tel. 047-356-9596



# 147GTA

マニア度高いんです! 硬派な147GTA

硬い足回りのGTA、さらにMT仕様と、硬派そのものの個体ながら走行距離は2.5万kmと少なめ。キセノンヘッドライト、BOSEサウンドシステムを装備した03年式。価格299万円。取材協力:アルファ・ロメオ 田園調布アブルーブドカーセンター Tel.03-3721-1565